

仙台厚生病院肝腫瘍治療センター

平成27年4月1日より肝腫瘍治療センターを開設しました！

- ✓ 患者さんにあった、適切な治療法を選択し、消化器内科、消化器外科、放射線科が連携を密にして治療します。
- ✓ 内科的治療および低侵襲の腹腔鏡下肝切除術から拡大肝切除術まで、切れ目のない最良の治療を提供します。

● 肝腫瘍の治療について

肝腫瘍の治療法には、①手術、②ラジオ波焼灼、③アルコール凝固、④経カテーテル治療、⑤放射線療法、⑥化学療法など、種々の治療法があり、それぞれが有効な治療法です。腫瘍の大きさ、存在部位、腫瘍の数、そして、患者さんの年齢、肝機能や合併症の有無などを考慮して、最適な治療法を選択します。

大事なことは、適切なタイミングで、適切な治療をそれぞれの治療法に精通した医師が行うことです。しかし、すべての治療法に精通した医師がいない施設では、どうしても得意な治療法に重点を置く傾向があり、適切な治療法が選択されないことがあります。

当院では、内科的治療(②～⑥)、特にラジオ波焼灼術はこれまでも、県内一の症例数を経験し、穿刺の困難な患者さんでも種々の工夫をしながら治療を行ってきました。アルコール凝固や経カテーテル治療も数多く行っています。

外科的治療(肝切除術)では、患者さんにあった切除術式を選択する必要があります。肝臓を自由に切れる技量が必要です。約1500例の肝切除の経験を有する外科医を中心に手術を行います。内科的治療が適応にならない小型肝腫瘍から、門脈本幹や心房内にまで腫瘍栓を形成した高度進行肝腫瘍まであらゆる肝腫瘍に対応してきました。また、低侵襲の腹腔鏡下肝切除術を導入してすでに多くの患者さんを治療しています。

以上のように、当院の肝腫瘍治療センターでは、患者さんにあった、適切な治療を適切に行うことができます。セカンドオピニオンにも随時、お応え致します。

肝腫瘍の患者さんを是非、仙台厚生病院肝腫瘍治療センターにご紹介下さい。

- 肝腫瘍治療センター外来 毎週**水曜日** 受付8時30分～11時
- セカンドオピニオン 随時 地域医療連携室でご予約下さい。

センター長	石山秀一 (消化器外科)
副センター長	石橋潤一 (消化器内科)
	石井 清 (放射線科)
事務局	近藤典子 (消化器外科)